

Q&A

低蛋白血症と胃閉塞をきたした1例

【問 題】

症例：50歳代，男性。

主訴：嘔吐。

現病歴：10年以上前から胃の多発ポリープを経過観察されていた。1カ月前からの腹部膨満感と繰り返す嘔吐を主訴に受診した。食事がとれず体重減少も認めため、精査加療目的に入院となった。

既往歴：20歳代，盲腸癌手術。

家族歴：父とその同胞2名が大腸癌。

来院時現症：身長168cm，体重53kg。腹部軟だが上腹部に膨隆あり，圧痛なし。

血液検査所見：WBC 9100/ μ l，RBC 524 \times 10⁴/ μ l，Hb 13.8g/dl，Plt 31.1 \times 10⁴/ μ l，TP 5.6g/dl，Alb 3.9g/dl，AST 17IU/L，ALT 11IU/L，LDH 163IU/L， γ -GT 8IU/L，BUN 15mg/dl，Cre 0.72mg/dl，Na 142mEq/L，K 3.8mEq/L，Cl 106mEq/L，CRP 0.04mg/dl，CEA 4.1ng/ml。抗 *H. pylori* 抗体<3IU/ml。

腹部CTと上部消化管内視鏡像を示す（Figure

1, 2）。

経過と画像所見から考えられる疾患は何か？

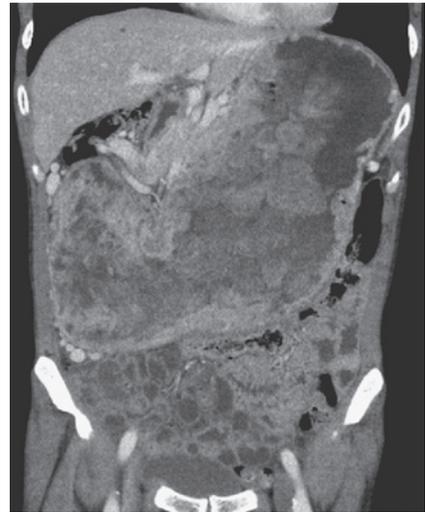


Figure 1. 腹部造影CT（冠状断）。

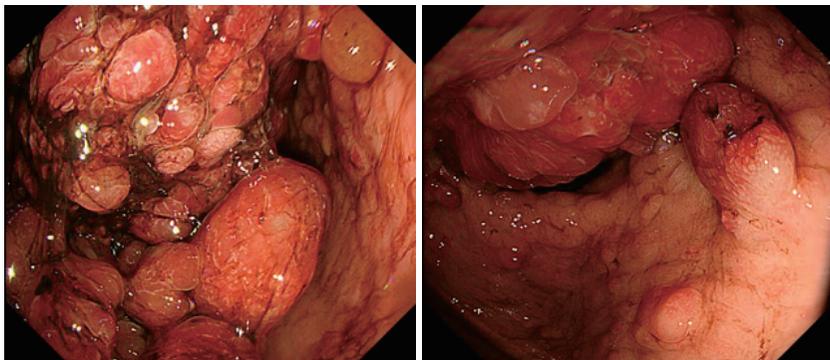


Figure 2. 上部消化管内視鏡像（左：胃体部，右：前庭部）。